保存版

865ZLE ／ デスク

組立・取扱説明書 【保証書付】

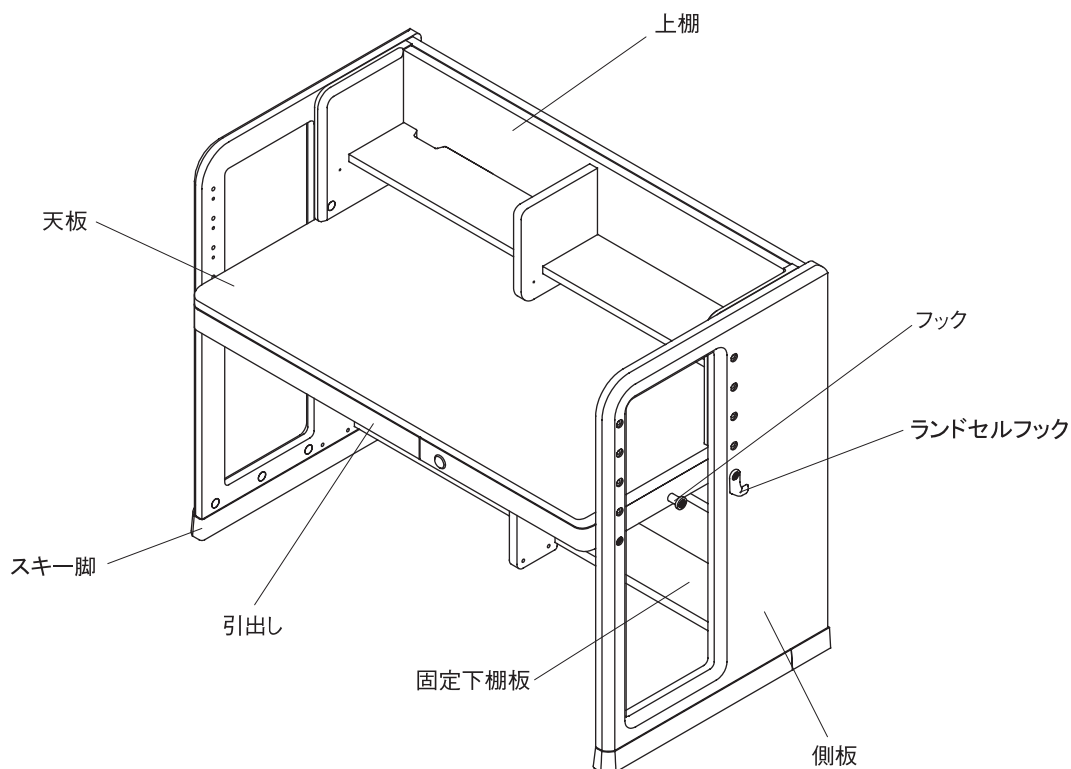
このたびはオカムラスタディデスクをお買い上げいただき、誠に有難うございます。
この組立・取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解された上、正しく組立てご使用いただくようお願いいたします。

⚠ **警　告**	**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が想定される内容を表しています。**

⚠ **注　意**	**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表しています。**

組立て完成図（各部の名称）

上棚
天板
フック
ランドセルフック
スキー脚
引出し
固定下棚板
側板

okamura

⚠ 警告

電灯の取扱いに関しては下記事項をお守りください。誤った取扱いをすると感電や火災の恐れがあります。

●煙が出たり、変な臭いがした場合はすぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●電源プラグやコンセント周りのゴミやほこりは乾いた柔らかい布でよく拭いて取り除いてください。発火や火災の原因となることがあります。
●電源コードを無理に曲げたり、引張ったりしないでください。コードが破損し、火災、感電の恐れがあります。
●蛍光管や電球交換時は電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
●器具のスキマやソケット部に金属類（ヘアピンや針金等）を絶対に挿入しないでください。感電や火災の原因となります。
●水をかけたり、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
（水は電気を通し易いので感電の恐れがあります。また、足元が濡れている場合は、一層感電し易くなりますのでご注意ください。）
●長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

定格電圧	100V
定格消費電力	15W
定格周波数	50/60Hz

コンセントの取扱いに関しては下記事項をお守りください。誤った取扱いをすると感電や火災の恐れがあります。

●過酷な用途を目的としてコンセントを使用しないでください。
●使用する電気容量は合計1400Wを超えないでください。容量オーバーは火災の原因となります。
●タコ足配線はおやめください。
●電源プラグやコンセント周りのゴミやほこりは乾いた柔らかい布でよく拭いて取り除いてください。発火や火災の原因となることがあります。
●電源コードを無理に曲げたり、引張ったりしないでください。コードが破損し、火災、感電の恐れがあります。
●電源プラグの差し込み口に金属類（ヘアピンや針金等）を絶対に挿入しないでください。感電や火災の原因となります。
●差し込み口にほこりがたまると発火する恐れがあります。定期的な清掃をお願いいたします。
●水をかけたり、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。（水は電気を通し易いので感電の恐れがあります。また、足元が濡れている場合は、一層感電し易くなりますのでご注意ください。

定格電圧	100V
コンセント容量	1500W
定格周波数	50/60Hz

⚠ 注意

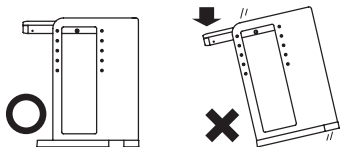
⚠ 組立て上のご注意

●説明書をよくお読みの上、組立て部品を残さず使用し、ネジはドライバーで確実にしめ、正しく組立ててください。組立てが不完全ですと、転倒事故や破損の原因となり危険です。
●組立ての際は、電動ドライバーを使用しないでください。必要以上の力がかかると商品を傷つけたりボルトが外せなくなる恐れがあります。
●組立てパターンにより、使用しない部品、部材が生じる事があります。組替え時には必ず必要になるため、大切に保管してください。部品紛失の場合は再度ご購入していただくこととなりますのでご注意ください。
●組立後、平ら場所にて製品の本締めを行い、各部がしっかり取付いているか確認してください。

⚠ 取扱い上のご注意

●この製品を乱暴に取扱ったり用途以外での使用はしないでください。
●製品のいずれの場所にも絶対に体重をかけたり、乗ったりしないでください。転倒および破損の原因となり大変危険です。
●鍵は開け閉めの際、深く差し込んでから回してください。また、回し過ぎないようにしてください。鍵や錠が破損する恐れがあります。
●製品に載せるものの重さは必ず最大積載質量以内にしてください。最大積載質量より重いものを載せると、転倒や破損の原因となり大変危険です。

天板最大積載質量	40kg（等分布静荷重）

●天板を拡張してご使用になる場合は、必ずスキー脚も手前に伸ばしてください。

⚠ 据え付けのご注意

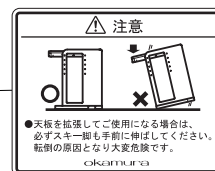
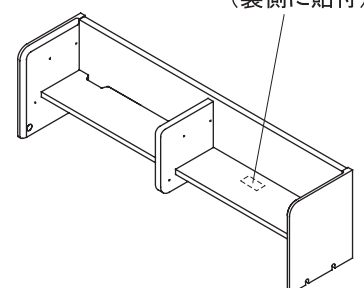
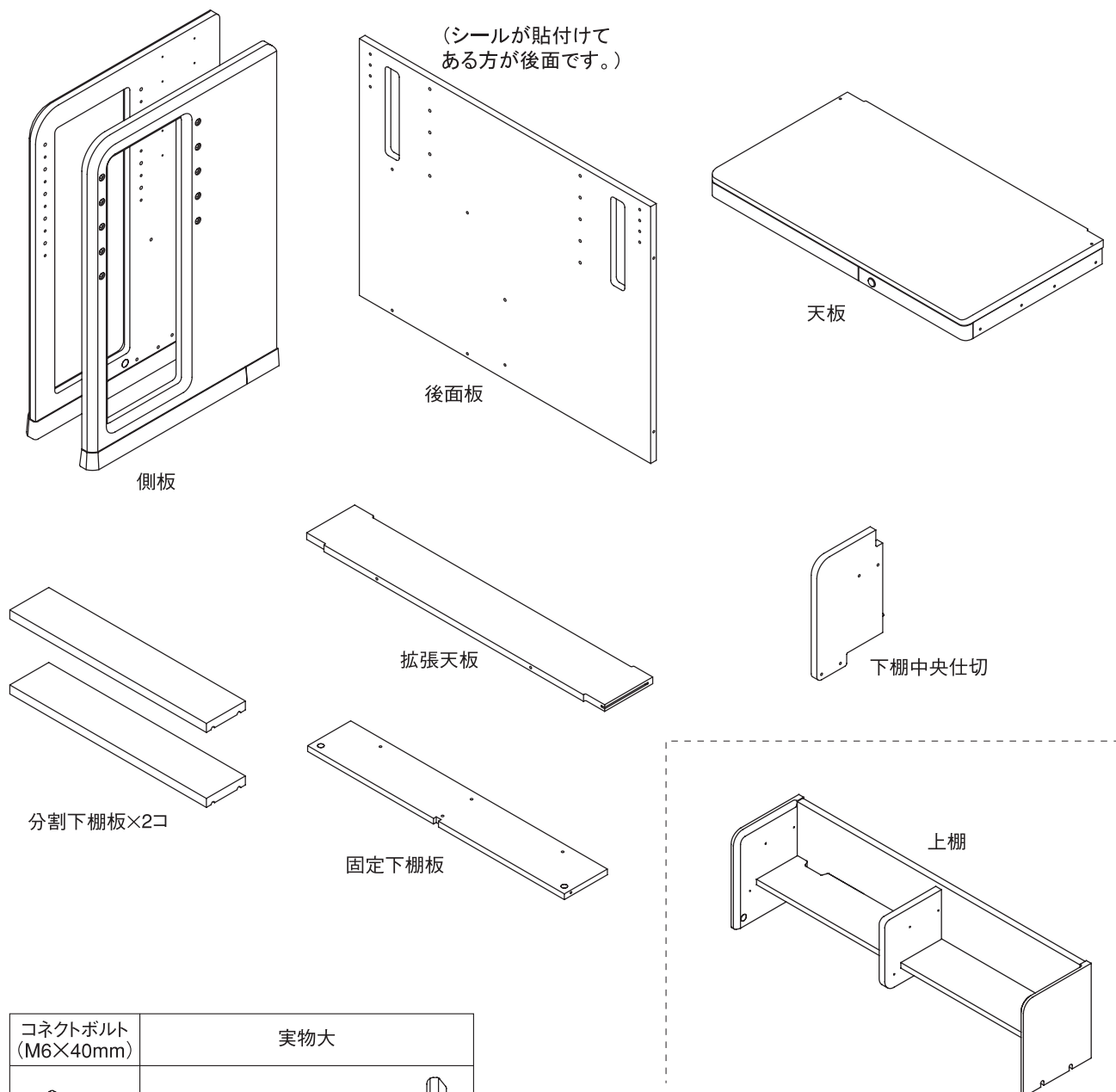
●水平な安定した場所を選んで設置してください。床が傾斜している場所や不安定な場所で使用しますと、転倒や事故の原因となり危険です。
●日光が直接あたる所、温度の高い所や湿気の多い所でのご使用は変質・変形・変色のもととなりますので避けてください。
●製品の据え付け及び移動するときは、床を引きずらないで、必ずお二人で持ち上げて行ってください。（床を傷つける原因となります。）

⚠ 末永くお使いいただくために

●熱いものを直接製品の上に載せないでください。変質・変形・変色の原因となります。
●製品にはシールやセロテープ等を貼付けないでください。表面材がはがれる原因となります。
●硬いもので製品をこすったり、下敷きなどを使用せずにボールペンなどの先の硬いもので書きものをしないでください。変形・キズの原因となります。
●製品の上をぬらしたままにしたり、ぬれた布などを放置しないでください。
表面材のソリやフクレの原因となります。ぬれた場合は水分が残らないようにすぐにふき取ってください。
●金具がゆるんだまま使用していますと、変形・破損および転倒の原因となり大変危険です。定期的に金具がゆるんでいないか点検し、ゆるみの箇所はしっかりと締め直してください。
●本製品は素材特有の臭いがすることがありますので、定期的に換気をすることをおすすめします。

⚠ お手入れについて

●硬くしぼった布でふいてください。汚れがひどい時は中性洗剤をうすめてふき取り、あとで洗剤が残らないよう、硬くしぼった布できれいにふき取ってください。絶対に水分が残らないようにしてください。
●アルコールやシンナー系の溶剤は表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

警告ラベルの位置と内容

部品明細（組立て前に必ずご確認ください）

コネクトボルト（M6×40mm）	実物大
×12	

棚受けワイヤー	天板受けダボ	ネジ式ダボ（6mm）	ネジ式ダボ（8mm）	フック	ナット用キャップ
×2	×4	×8	×4	×2	×6

片側連結ボルト（24mm）	リング	ランドセルフック（ボルト付M6X45mm）	キー	整理トレー
×8	×6	×1	×2	×1

- 組立てには＋ドライバーを使用しますのでご用意ください。
  電動ドライバー等の電動工具を使用すると、商品を破損させる恐れがありますので、手回しのドライバーを使用してください。
- 部品は、組立てパターンにより余る場合がありますが、後々の組替え時に必要となる為、大切に保管してください。

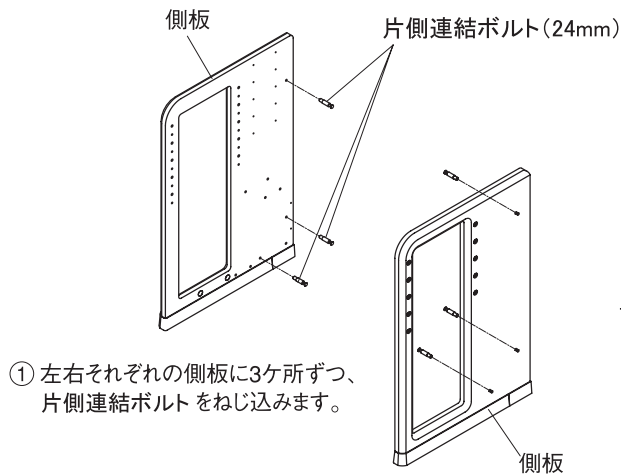
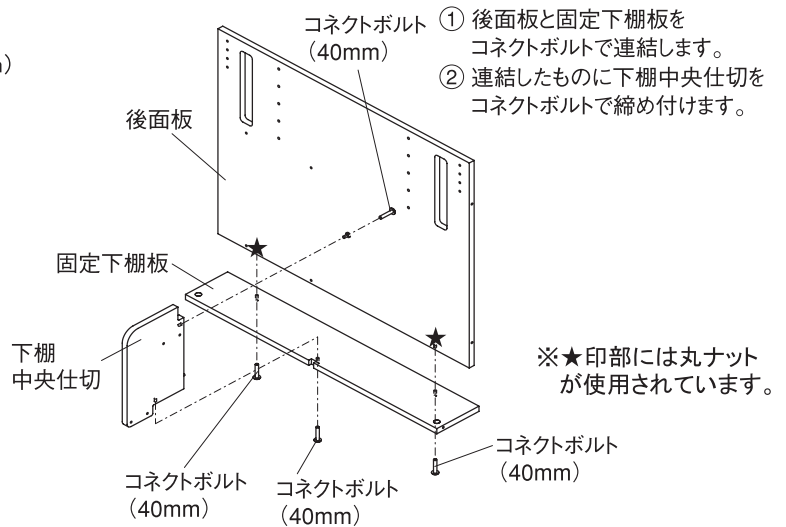
デスクの組立て方法

1 側板への片側連結ボルトの取付け

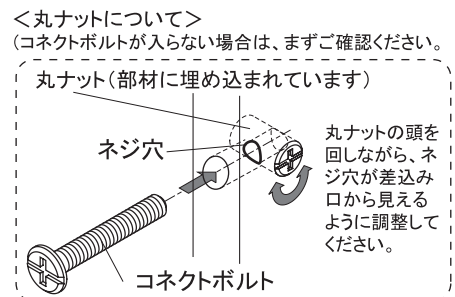
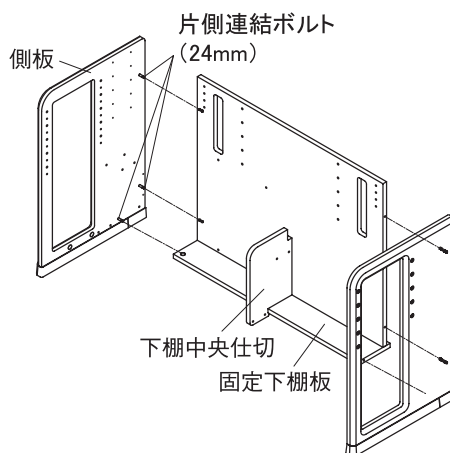
2 後面板・固定下棚板の取付け

① 左右それぞれの側板に3ケ所ずつ、片側連結ボルト をねじ込みます。

① 後面板と固定下棚板をコネクトボルトで連結します。
② 連結したものに下棚中央仕切をコネクトボルトで締め付けます。

※★印部には丸ナットが使用されています。

3 側板の取付け

① 側板の左右3ケ所ずつの片側連結ボルトに、後面板の側部木口の穴を合せて差込みます。 差込み後、回転金具を右に回し、締め付けてください。
※後面板は回転金具が見える方を後面としてください。

＜丸ナットについて＞
（コネクトボルトが入らない場合は、まずご確認ください。）

Point 〔回転金具について〕

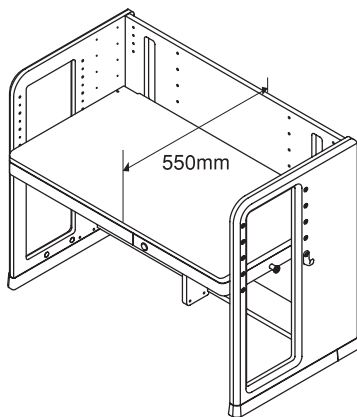
回転金具
（部材に埋め込まれています）

右に回すと締ります。
左に回すと緩みます。

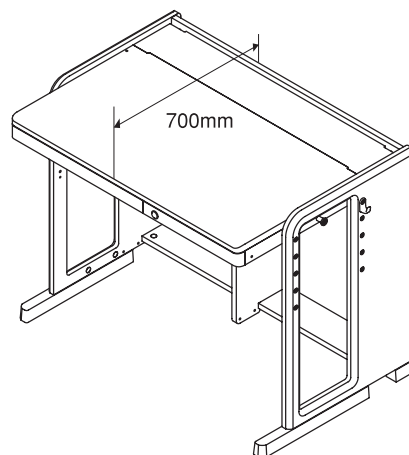
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り（外れ）ます。

4 天板の取付け

天板の取付け方として2種類のタイプがあります。

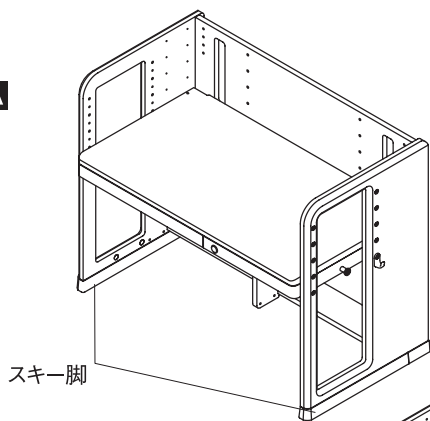
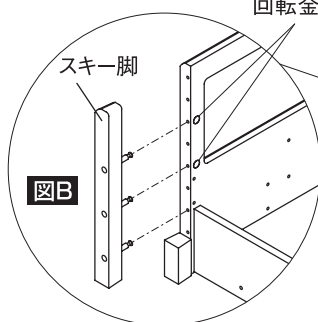
4-1 コンパクトタイプ

お子様が小さく天板広さが必要でない時、
デスクを小さくし、部屋を広く使いたい時に適しています。

※P5の「天板取付け方」をご参照ください。

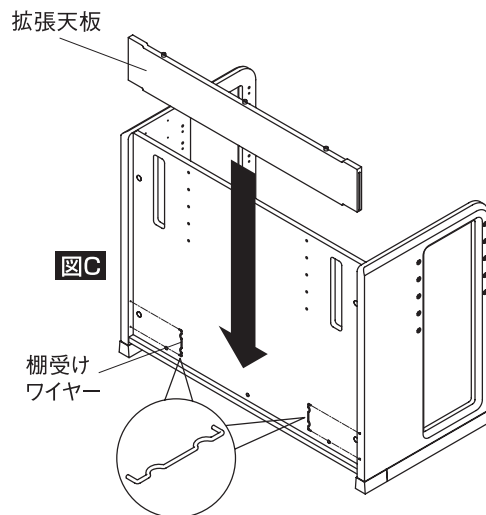
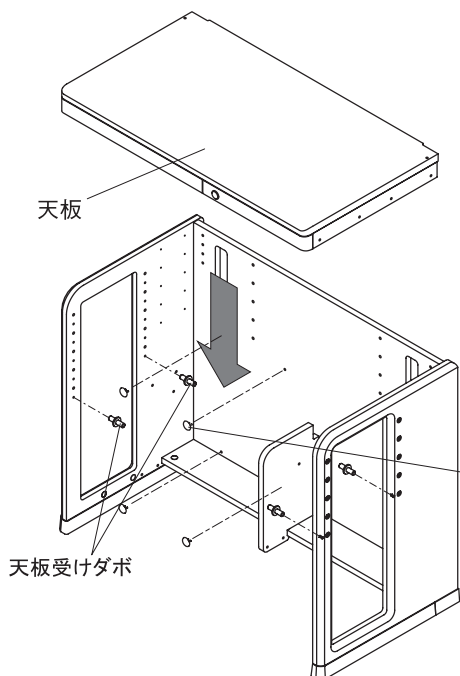
4-2 拡張タイプ

お子様が成長し、天板の広さが必要な時、
通常の学習机と同等の天板広さが確保できます。

※P6の「天板取付け方」をご参照ください。

4-1 天板の取付け(コンパクトタイプ)

天板の高さはご使用される方の身長に合わせて5段階に調節ができます。P8の「デスク天板の高さについて」をご参考に天板高さを設定ください。

⚠注意 照明をデスク天板上に取付ける場合は、組立て前に、天板ユニットに照明取付用クランプを取付けて下さい。(P9参照)

① スキー脚は 図A の位置になります。

② スキー脚位置を変更する時は、デスク本体を後ろに倒し、回転金具を左に回しスキー脚を取外し、図B の位置に取付け、回転金具を右に回し締め付けてください。

③棚受けワイヤーを後面下 図C の様に左右差込み、拡張天板を上方よりスライドさせながら、棚受けワイヤーに差込んでください。

※別売りの3段ワゴン上部ユニットを天板下に取付けない場合は、図の位置にナット用キャップを取付けてください。(4ケ所)

⚠注意 ランドセルフックを、フック取付け位置に取付けないでください。 ボルトの長さが違う為、本体を破損させる恐れがあります。

コネクトボルト (40mm)

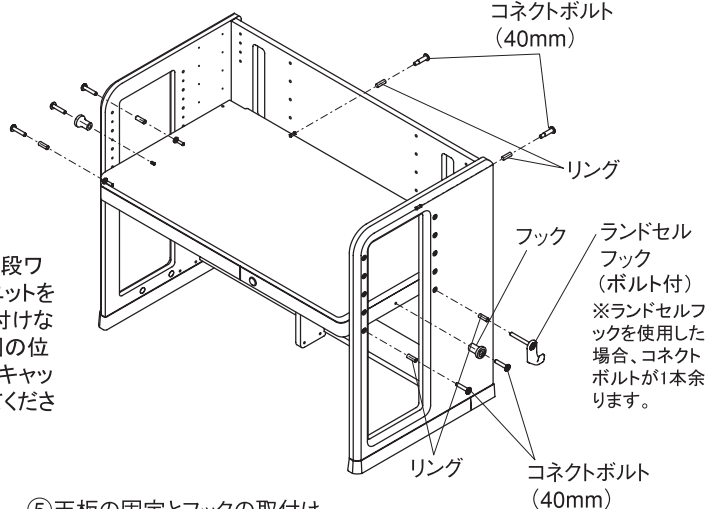
リング

フック

ランドセルフック (ボルト付)

※ランドセルフックを使用した場合、コネクトボルトが1本余ります。

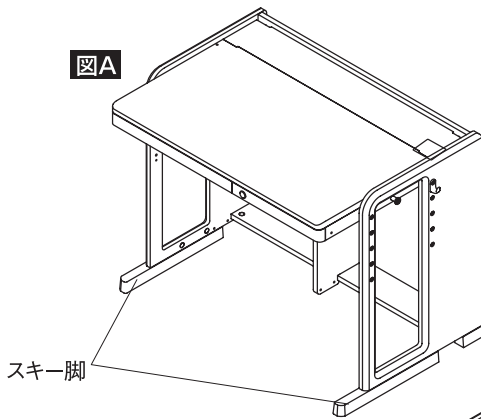
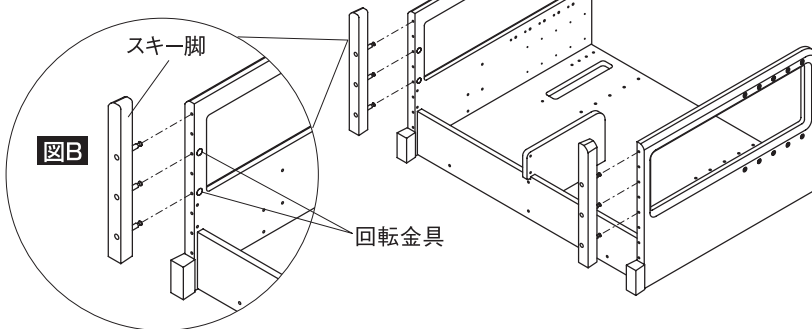
リング

コネクトボルト (40mm)

④あらかじめ天板の高さを決め、その高さのダボ穴に天板受けダボを 取付けてください。(左右側板4ケ所)
天板を天板受けダボの上に載せ仮置きします。
※全ての天板受けダボを同じ高さに取付けてください。
高さが違っていると、天板が脱落する恐れがあり、大変危険です。

⚠注意 天板高さを変更する際は、天板受けダボが取付いていることを確認してから、コネクトボルトを外してください。

⑤天板の固定とフックの取付け
天板の仮置きが終わりましたら、その高さに適合した側板及び後面板の外側の穴にリングを挿し込み、コネクトボルトで締め付けます。
この時側板後側の左右どちらか片側にランドセルフックを取付けることができます。
取付ける場合は、ランドセルフックに付属のボルトで天板に共締めしてください。
次に天板横に好みに応じてフックを取付けてください(両側2ケ所)。

4-2 天板の取付け(拡張タイプ)

天板の高さはご使用される方の身長に合わせて5段階に調節ができます。P8の「デスク天板の高さについて」をご参考に天板高さを設定ください。

⚠注意 照明をデスク天板上に取付ける場合は、組立て前に、天板ユニットに照明取付用クランプを取付けて下さい。(P9参照)

① スキー脚は 図A の位置になります。
② スキー脚位置を変更する時は、デスク本体を後ろに倒し、回転金具を左に回しスキー脚を取外し、図B の位置に取付け、回転金具を右に回し締め付けてください。

③ P8図を参考にお子様に合わせた天板高さを決め、その天板と同じ高さになるよう棚受けワイヤーをセットしてください。
④ 棚受けワイヤーに拡張天板を前方からスライドさせながら差込んでください。
この時、警告ラベルのある方を、表右側としてください。
※コンパクトタイプから組替える場合、拡張天板は棚受けワイヤーにて後面板裏にセットされています。

⚠注意 ランドセルフックを、フック取付け位置に取付けないでください。 ボルトの長さが違う為、本体を破損させる恐れがあります。

※別売りの3段ワゴン上部ユニットを天板下に取付けない場合は、図の位置にキャップを取付けてください。(4ケ所)

④ ③で決めた天板高さのダボ穴に、天板受けダボを取付けてください。(左右側板4ケ所)
天板を天板受けダボの上に載せ仮置きします。
図の矢印の方向にスライドさせて取付けてください。

※全ての天板受けダボを同じ高さに取付けてください。
高さが違っていると、天板が脱落する恐れがあり、大変危険です。

⚠注意 天板高さを変更する際は、天板受けダボが取付いていることを確認してから、コネクトボルトを外してください。

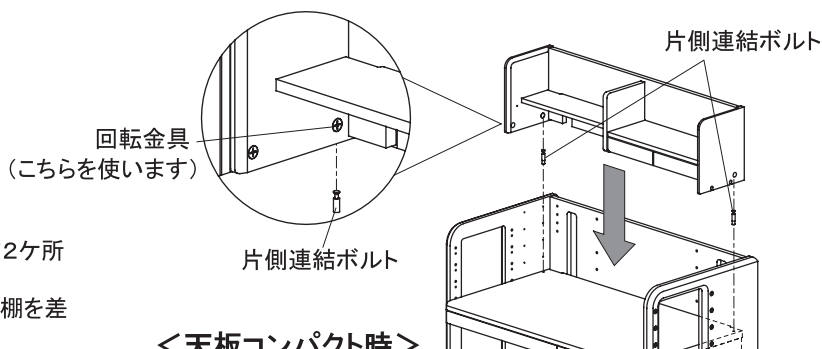
⑤天板の固定とフックの取付け
天板の仮置きが終わりましたら、その高さに適合した側板及び後面板の外側の穴にリングを挿し込み、コネクトボルトで締め付けます。
この時側板後側の左右どちらか片側にランドセルフックを取付けることができます。
取付ける場合は、ランドセルフックに付属のボルトで共締めしてください。
次に天板横に好みに応じてフックを取付けてください
(両側2ケ所)。

5 上棚の設置と使用方法

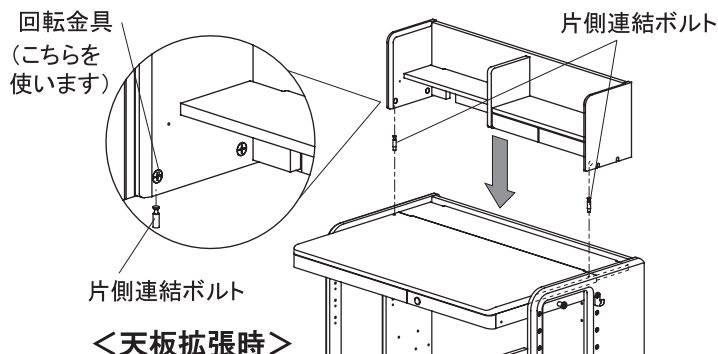
●天板上に設置する場合

すべての天板高さの時に設置ができます 。

＜天板コンパクト時＞

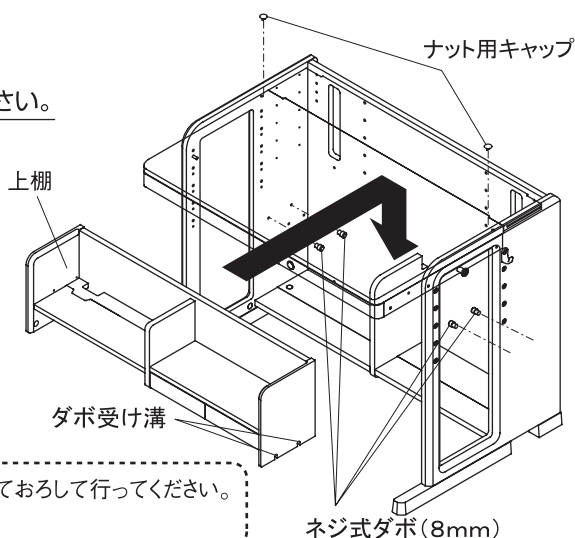
①デスク天板の図の位置に片側連結ボルトを左右2ケ所ねじ込みます。
②片側連結ボルトを上棚の奥側の穴に合せて、上棚を差込み、回転金具を右に回し、締め付けてください。

＜天板拡張時＞

①デスク天板の図の位置に片側連結ボルトを左右2ケ所ねじ込みます。
②片側連結ボルトを上棚の手前側の穴に合せて、上棚を差込み、回転金具を右に回し、締め付けてください。

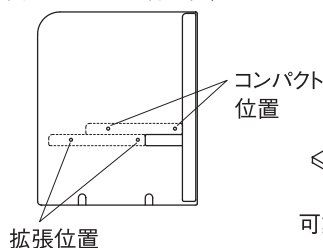
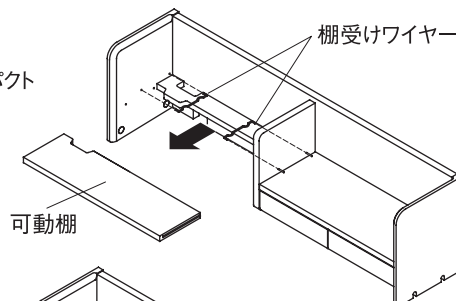
※上棚を取外す場合、上記の逆の手順で、図の位置の回転金具の矢印を下に向け（左右共）、上棚を上方向に持上げると取外す事ができます。

●天板下に設置する場合　天板を取付ける前に行ってください。

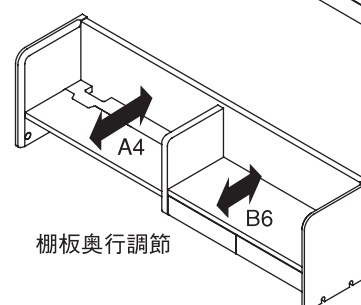
JIS 5号と6号の天板高さの時に設置ができます。

① ネジ式ダボ（8mm）を、側板内側のダボ取付け穴にねじ込みます。
②上棚の側板下にダボ受けの溝があります。
その溝とダボが合うように上置棚を上から落とし込みます。
③天板の連結ボルトを外し、ナット穴にナット用キャップを取付けます。
外した片側連結ボルトは大切に保管してください。

※3段ワゴンの引出しユニットは取外してください。

⚠注意　ご使用中に上棚の設置場所を変える場合には、棚上の物をすべておろして行ってください。
また、可動棚は取外してから作業を行ってください。

●可動棚の使用方法

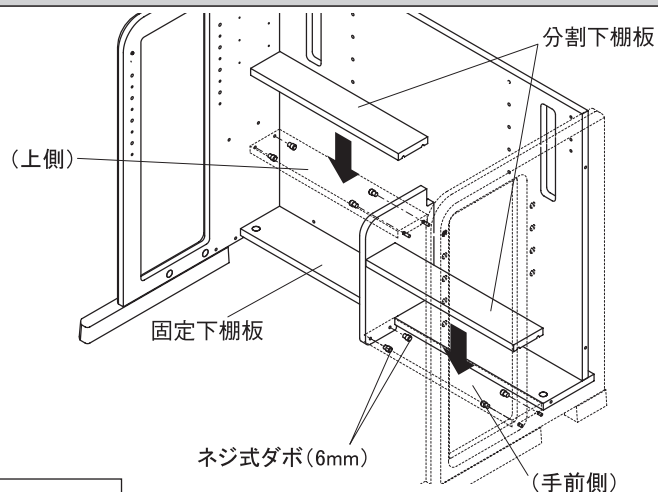
可動棚の奥行きは、取付け位置を変更することで、
2段階に調節することができます。

①奥行拡張の方法
可動棚及び棚受けワイヤーを取外し、
下段前部に棚受ワイヤーを取付けてください。
棚受ワイヤーに可動棚の側面木口溝を合わせて、押し入れてください。

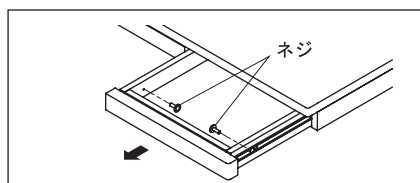
※可動棚を取外す場合は棚上の物をすべておろしてから行ってください。
落下してケガをする恐れがあります。

6 下棚とその他の設置と使用方法

分割下棚板の設置方法

分割下棚板は固定下棚板の、左右の手前側と上側に取付けることができます。

取付けたい位置にネジ式ダボを取付け（1棚につき4ケ所）、分割下棚板を上に載せてください。

※コンパクト時にワゴンの後ろになる位置の手前側に分割棚板を取付けると、天板下にワゴンが収まりきらなくなります。

引出しの取外し方法

引出し枠板の内側からネジを外すと、引出しを取外すことができます。

3段ワゴン引出しユニットの収め方

デスク天板高さをJIS3号以下（下から2段目位置まで）でお使いいただく場合、3段ワゴンの引出しユニットを分割する必要があります。

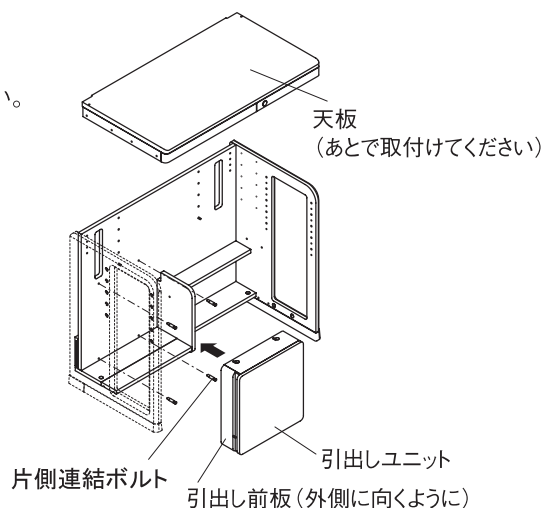
分割した引出しユニットは図のようにデスクの下棚部左側へ取付けて収納してください。天板を取付ける前に下のように行ってください。

① 引出しユニットがワゴン本体に取付いた状態の場合は、引出しユニットを取外し、片側連結ボルトもワゴン本体より取外してください。（ナット穴にナット用キャップを取付けてください）

② ワゴン付属の片側連結ボルト（4本）をデスク後面板のナットにねじ込んでください。引出しユニットが取付いた状態だった場合は、①で取外した片側連結ボルトを使用してください。

③ 引出しの前板がデスク側板（外側）の方を向くように、引出しユニット下側の穴（4ケ所）に片側連結ボルトを挿し込むように取付けてください。

④ 上部の回転金具（2ケ所）のみ右に回し締め付けてください。

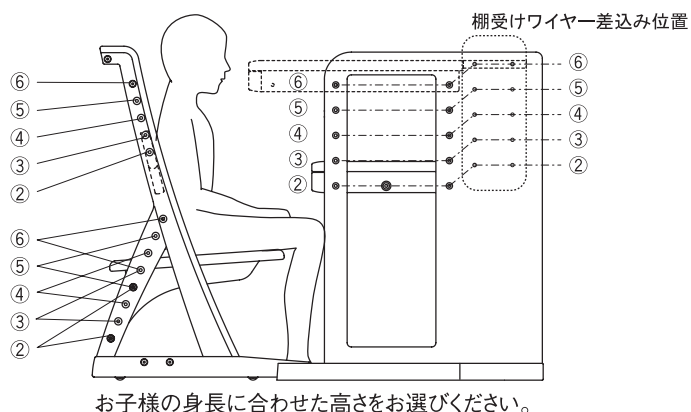
※分割した引出しユニットは、デスクの左側にのみ取付きます。

デスク天板の高さについて

オカムラピエルナシリーズデスクは学校用家具のJIS規格2号（身長約120cm）から6号（身長約180cm）に対応して、5段階で天板高さを調整することができます。

右の図は各JIS号数に対応した、組立て時のボルト取付け位置を示したものです。

※天板拡張時の拡張天板は、棚受けワイヤー取付け位置を示しています。

別売で専用のイスをご用意しています。デスクと組み合わせることにより、適正な位置でご使用できます。

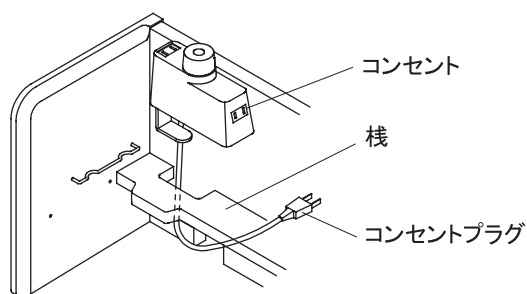
お子様の身長に合わせた高さをお選びください。

号数		②	③	④	⑤	⑥
標準身長		１２０	１３５	１５０	１６５	１８０
机	天板の高さ	５２	５８	６４	７０	７６
イス	座面の高さ	３０	３４	３８	４２	４６
	座面の奥行き	２９	３３	３６	３８	４０

7 照明の取付け方法

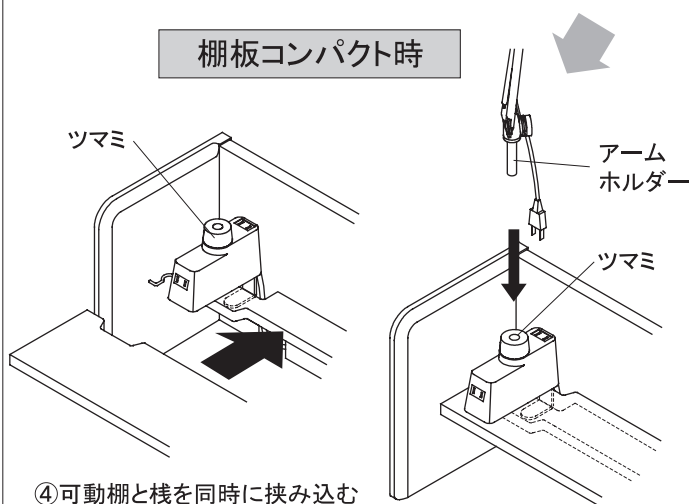
※照明の取付け方は、他のピエルナシリーズと違うところがございますので、内容を良く読み、正しく組立ててください。

〈上棚への取付け方法〉

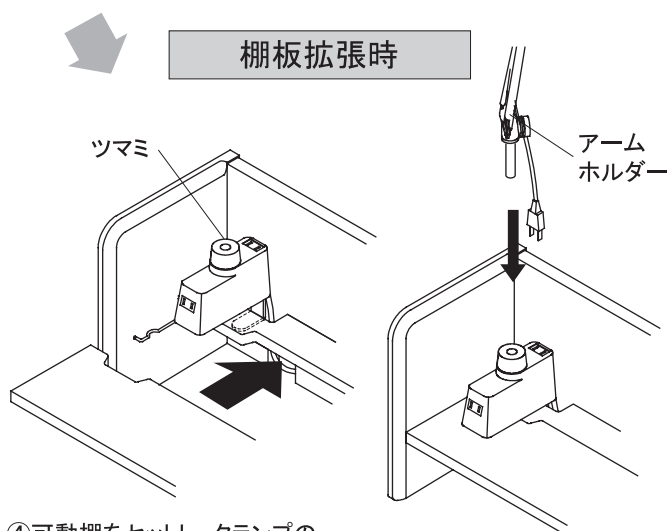
照明器具は上棚の左右両側に取付けることができます。

①照明器具取付け側の上棚可動棚を取外してください。
可動棚の取外し方法はP7を参照してください。

②コンセント付クランプのコンセントプラグを、2ヶ所の切り欠きを通し、後面へ出してください。

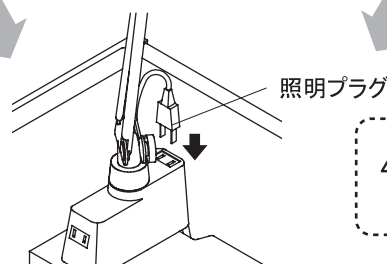
③照明器具付属のコンセント付クランプを横向きにして桟に通してから、コンセントが正面方向にくるよう向きを変えてください。

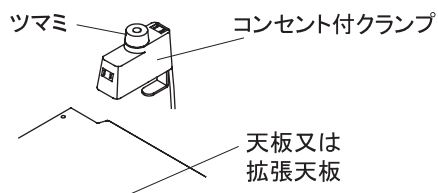
棚板コンパクト時

④可動棚と桟を同時に挟み込む位に、クランプの間口を開けてください。
⑤可動棚をセットし、ツマミを回し、クランプを固定してください。

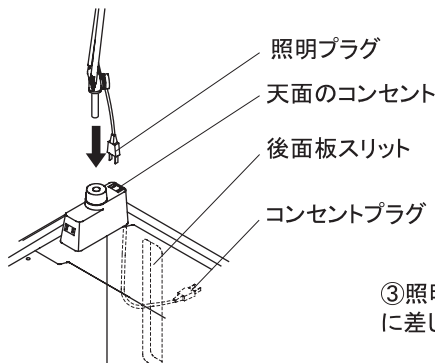
⑥照明のアームホルダーを、ツマミ部に差込みます。

棚板拡張時

④可動棚をセットし、クランプのツマミを回し、クランプを固定しをてください。

⑤照明のアームホルダーを、ツマミ部に差込みます。

照明プラグをコンセント付クランプの天面後部(図の位置)に差し込んでください。

⚠ **注意** クランプを緩めすぎないでください。緩めすぎると、クランプの下部が脱落する恐れがあります。

＜天板・拡張天板への取付け方法＞

①天板をデスク本体に取付けする前に、天板、若しくは、拡張天板の左右の後側の切欠き部にコンセント付クランプを差込み、ツマミを回して取付け、クランプをしっかり固定してください。

②照明のアームホルダーをクランプのツマミ部に差込みます。

③照明プラグをクランプ天面のコンセントに差し込みます。

④コンセントコードを後面板スリットから後面に出してください。
天板最上段の時は、スリットを通さず、後面板の上側から後面に出してください。

⚠ **注意** 照明器具の取付けは、デスク天板取付け前に行ってください。

⚠ **注意** 卓上クランプを緩めすぎないでください。緩めすぎると、クランプの下部が脱落する恐れがあります。

修理と製品保証について

この度はオカムラ学習家具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けいたしております。
万一保証期間内(社団法人 日本オフィス家具協会のガイドラインに基づく。)に故障した場合は無料にて修理させていただきます。
(お客様購入日よりの指定期間、不具合箇所、現象の例 による。)

修理は、お買上の販売店に、必ず本保証書を添えて、ご依頼ください。

所定記入の無い場合は、保証書と一緒に、ご購入先の領収書を保存しておいてください。

保証書

	不具合箇所・現象の例		期間
保証期間	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色、レザー・クロスの磨耗	1年
	機構部・可動部	引出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構の故障	2年
	構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年
品名	デスク	品番	865ZLE
お買上日	年 月 日		
おところ			
お名前			
販売店名			㊞

1. 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
   イ)組立・取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかったことが原因での故障。
   ロ)お買上後の輸送、移動、落下などによる故障。
   ハ)お買い求めの販売店、もしくは当社以外での修理・改造などによる故障。
   ニ)火災、塩害、異常電圧、地震、雷、風水害、その他天災地変などによる故障。
   ホ)本書にお買上げ年月日、販売店等、本保証書所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
   ヘ)保証書の提示がない場合　ト)消耗部品の交換
2. 運賃等の諸経費はお客様にご負担いただく場合があります。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
5. 修理用部品の最低保有期間は、製品の製造中止後5年間とさせていただきます。

尚、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、
ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店又は弊社支店あてにお問合せください。

株式会社岡村製作所　〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-4-1 天理ビル19階

組替え方法について、弊社ホームページに代表的な製品の組替え方詳細を掲載しておりますので、ご確認ください。　http://www.pierna.jp/

よい品は結局おトクです
オカムラ
株式会社 岡村製作所　インテリア製品担当
ホームページアドレス　http://www.okamura.co.jp/
お問い合わせ・ご相談は
お客様サービスセンターへ
フリーダイヤル 0120-81-9060
受付時間 9:00〜17:20(土・日・祝日を除く)